

スイス・フランの急上昇について

2015年1月16日

<経緯と市場の反応>

1月15日(現地)、SNB(スイス国立銀行)は、1ユーロ=1.20スイス・フランに設定していた為替レートの上限を撤廃し、同時に3カ月Libor(ロンドン銀行間取引金利)のターゲットレンジ引き下げを発表しました。

大多数の市場参加者の予想外のタイミングでの発表であったことから、これを受けて為替市場ではスイス・フランが各通貨に対して大きく上昇し、対ユーロレートは発表後15分で1.20から0.85まで急激なユーロ安フラン高となりました。その後、SNBのフラン売り介入発動のうわさもあって、乱高下しながら1ユーロ=1.00フラン付近での推移となっています。

<上限撤廃の背景>

スイス・フランの対ユーロの上限レートとして1.20が2011年9月に設定され、その後3年4か月にわたってSNBによる巨額のユーロ買いフラン売り介入によって維持されてきました。

昨年以降、欧州景気の鈍化を受けてECB(欧州中央銀行)の金融緩和に対する思惑が浮上し、為替市場ではユーロに対する売り圧力が強まる反面スイス・フラン高となりました。これに対してSNBは、大規模なユーロ買いフラン売り介入によってスイス・フランの上限レートを防衛してきました。しかし、来週開催されるECB政策理事会で国債買い入れなどの新たな量的緩和策が発表されるという観測が強まる中、市場のユーロ売り圧力に対抗して上限レートを維持することは不可能と判断したものと思われます。

(今後の見通しについては次頁をご覧ください。)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<今後の見通し>

今後のスイス・フラン為替相場の行方ですが、突然の今回の決定を市場が消化できているとは言いがたく、落ち着きどころを探るまで為替レートはしばらく不安定な動きを続けるものと思われます。SNBは今後もフラン売り介入を「適宜行う」と述べていることもあり、今後も市場のスイス・フラン買い圧力が緩和される動きも予想されますが、従前のような明確な上限レートが撤廃された以上、市場参加者が適正と判断する為替水準を見出すには時間がかかると思われます。

現在欧州各国では、スイス・フラン建ての住宅ローンなど、低金利のスイス・フランで資金調達を行うポジションが存在しており、このポジションの解消が行われると大きくスイス・フランを買い戻す圧力になることも想定されます。また、GDP(国内総生産)の13%に達する巨額の経常黒字(IMF(国際通貨基金)推計、2014年)の存在も、スイス・フラン上昇の材料として意識されやすいと考えられます。

スイス・フランの推移



(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。